

南極クルーズ

2026-2028



Antarctica

南極大陸

厳しくも美しい大自然と野生動物の楽園



雪と氷が織りなす絶景に次ぐ、絶景



南極半島

巨大な氷河、氷に覆われた高い山々など、まるで別の惑星のような景色が広がります。



ル・メール海峡

南極随一の雄大な景色で知られ、最狭部は800m以下。険しい岩山が迫ります。



ロス海

地球上で最も人間の手が加わっていない「最後の海」と呼ばれるロス海は南極最大の棚氷に覆われています。



パラダイス・ハーバー

かつて捕鯨船の休息地に利用されていたこの湾は、南極で最も美しい場所のひとつです。



ノイマイヤー海峡

周囲にそびえる標高の高い山々と、そこから流れ出す氷河の絶景をご覧ください。



ラーセン棚氷

ウェッデル海を中心にそびえ、三つの棚氷で構成される氷の壁は南極を覆う氷床が海へ溶けるのを防ぐ役割も担っています。

貴重な野生動物との出会い

愛らしいペンギンたち



コウテイペンギン

黒い背と白い腹、そして耳元の黄色い斑点が特徴。南極の象徴とよばれるペンギンです。



キングペンギン

深く潜る最高のダイバーとしても知られ、コウテイペンギンに次ぐ大きさを誇ります。



アゴヒゲペンギン

喉元の細い黒帯模様がまるで顎紐のよう。亜南極諸島に数多く生息しています。



ジェンツーペンギン

長く尾を振りながら水中を自由に疾走する、活発な彼らの姿との出会いをお楽しみに。



そのほかの南極の動物たち

南極半島を囲む海には、豊富なオキアミが生息し、多種多様な野生動物による豊かな生態系が形成されています。ザトウクジラ、ジェンツーペンギン、アデリーペンギン、ヒョウアザラシ、カニクイアザラシ、ウェッデルアザラシなど、貴重な動物たちとの出会いが待っています。

more

動物の近くでは、ゆっくり静かに移動して、観察をします。エサを与える、追いかける、触れることはできません。厳しい制限があってこそ、この手つかずの自然が継承されていくのです。



Ponant Style

ポナンが叶える

本質的なラグジュアリークルーズ

ポナンでの旅は、船内と外界がゆるやかに調和し、上質な船内空間にしながら、いつでも極地の壮大な空気を感じられる設計が随所に散りばめられています。最高の客船、クルーとともに極上の極地クルーズをお楽しみください。

スタイリッシュで自由な冒険の旅へ

壮大なスケールの自然を味わえるという意味で、南極以上の旅先はありません。過酷な環境ゆえに、地球に残された手つかずの美しい景色と対面し、ここで見られない動物と出会える——それも、乗客の方は特別体力を必要とせず、ポナンの5つ星の快適な船でたどり着くことができます。船内にいる間は、極地にいることを忘れてしまうほど、心地よい時間をお過ごしいただくことができますでしょう。ポナンの船で南極へ。ぜひ一緒にしましょう。

日本・韓国支社長 / ポナン日本人エクスペディションリーダー
伊知地 亮



極上のクルーズ体験をあなたに ポナンの魅力、4つのポイント



1, *Luxury Ship* フランス流の上質な船内空間

バカンスをこよなく愛するフランス人が創り上げたクルーズ。それが「ポナンスタイル」です。フランス発のデザインやアメニティが船内をスタイリッシュに演出します。感動と興奮の極地探検から戻った心と身体を柔らかなぬくもりで包み込み、ご自宅にいらっしゃるようなリラックスしたひとときをお過ごしいただけます。

2, *Activity* 豊富な上陸・遊覧観光体験

ポナンでの南極クルーズの定員は、200名以下に抑えられているので、上陸をお待たせすることはありません。上陸の際には、10～15人※のエクスペディションガイドがチームを組み、皆さまのアクティビティをサポートしています。よりきめ細やかな対応が可能となり、変わりやすい南極の天候や海の状態をもとに、安全で快適なアクティビティを計画、実施していきます。

※ ル コマンダン シャルコーは20人



3, *Japanese Guide* 日本人ガイドが乗船する出発日あり

船内ではほぼ毎日、専門家による講義が行われますが、日本人ガイドが同行するコースでは、一部の解説を日本語でご案内いたします。こうした講義を理解したうえで南極を体験いただくと、楽しみ方の幅が大きく広がります。極地という場所での万が一のトラブルの際にも安心です。

4, *Gastronomy* 極地で味わう三つ星の美食

ミシュランシェフ、アラン・デュカス氏の持つレストラン「デュカス・コンセイル」の監修を受けた、フランス船ならではの料理をご堪能ください。極地の旅でありながら、健康的で優雅なグルメの数々と、船上でお楽しみいただく「オートクチュール」のお食事をご用意しております。



The Road to Antarctica

「南極を選ぶ」楽しみ

優雅にゆく冒険の船旅

南極の象徴ともいえるコウテイペンギンと出会い、ウェッデル海を航行して壮大なラーセン棚氷を目指すことも、南極圏を越えてロス海やかつて探検家たちが伝説を作った島々を訪れることも、ボナンのクルーズであれば思いのままです。

あなたのお気に入りのコースを見つけてください。

さまざまな出発日とコースをご用意してお待ちしております。



〈マークについて〉



日本人ガイドまたは日本語ができるスタッフが同行する日程があるコースであることを表します



おひとり様ご利用の追加料金が無料の日程を含むコースであることを表します

〈旅行代金に含まれているもの〉

- サンチアゴ・ブエノスアイレスと乗船・下船地間のフライト代金（地図に赤字で記載のフライト）
- 集合地となる都市のホテル代金（ホテル泊のないコースもございます）

※ 旅行代金はオーストラリアドル（AU\$）表記です。ボナンボーナス（早期予約割引）が反映されたクルーズ代金は空室状況によって変動します。

冒険の象徴・南極大陸へ

ブエノスアイレス (アルゼンチン) 発着 11泊12日間

該当コースは
お問い合わせください

JPN
日本人
ガイド乗船

シングル追加料金
無料

出発日

- ▶ 2026年：11月17日 / 12月9日 / 12月17日
- ▶ 2027年：1月15日 / 1月25日 / 2月4日 / 2月15日 / 2月27日 / 11月26日 / 11月27日 / 12月7日 / 12月17日 / 12月27日
- ▶ 2028年：1月2日 / 1月6日 / 1月12日 / 2月1日 / 2月11日 / 2月21日



旅人の想像力を掻き立て、冒険への渴望を芽生えさせる「白い大地」南極大陸。豊かな固有種が暮らすこの大陸の魅力を、11日間のクルーズで発見します。



使用船名 ロストラル / ル ボレアル / ル リリアル



クルーズ代金

スーペリアステートルーム
(1名様 / 2名1室利用)

AU\$ 18,580.00~

フォークランド諸島、サウスジョージア島、南極半島を巡る 南極海クルーズ

ブエノスアイレス (アルゼンチン) 発着 18泊19日間

該当コースは
お問い合わせください

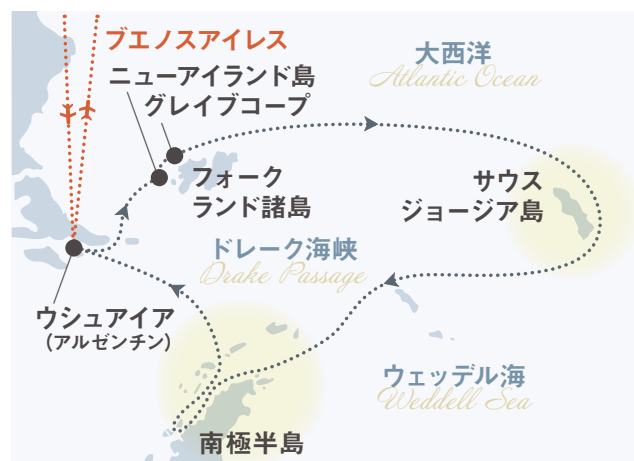
シングル追加料金
無料

出発日 ▶ 2026年：11月16日* / 12月3日 / 12月19日 ▶ 2027年：2月14日 / 12月16日 ▶ 2028年：1月27日 / 2月23日

※11月16日発はニューアイランド島の寄港がザ・ネック/サンダース島 となります



フォークランド諸島からサウスジョージア島、そして南極大陸まで。このエリアではキングペンギンの営巣地との出会いも。未知なる秘境をめぐる旅へ出発しましょう。



使用船名 ロストラル / ル ボレアル / ル リリアル



クルーズ代金

スーペリアステートルーム
(1名様 / 2名1室利用)

AU\$ 27,390.00~

ニュージーランド発着 南極・ロス海クルーズ

ダニーデン (ニュージーランド) 発着 21泊22日間

出発日 ▶ 2027年：1月25日



クルーズ代金

スーペリアステートルーム
(1名様/2名1室利用)

AU\$ 41,460.00~

かつての南極探検家の出発点となったロス海は、世界最大の海洋保護区があります。ここでしか見ることができない野生動物との出会いは感動の連続です。



使用船名 ル ソレアル

世界遺産バルデス半島も訪れる 南極海の島々と南極半島クルーズ

ブエノスアイレス (アルゼンチン) 発着 19泊20日間

該当コースは
お問い合わせください

シングル追加料金
無料

出発日 ▶ 2026年：11月12日※ ▶ 2027年：2月25日 / 3月3日 / 3月9日

※11月12日発は逆周りコースとなります



クルーズ代金

スーペリアステートルーム
(1名様/2名1室利用)

AU\$ 24,690.00~

ユネスコ世界遺産に登録されたバルデス半島から、フォークランド諸島、サウスジョージア島、そして南極半島へ——南大洋を航く極地クルーズで、手つかずの大自然に出会う旅です。



使用船名 ロストラル / ル ボレアル / ル リリアル

砕氷客船でゆく 南極半島の"その先"

これまでの旅行では訪れることができなかった、
雪と氷に阻まれた世界の先にある"極地の真髄"へ——。



探検の先にあるもの

「探検が過酷なもの」であるのは、この究極の極地探検船「ル コマンダン シャルコー」が誕生した今、昔話のようなものです。最新鋭のテクノロジーを搭載し、極地観測船と同レベルの砕氷能力により、厚い氷に阻まれこれまで訪れることが困難だった地球上で最も隔絶された"本当の極地"を目指す旅を実現します。



環境への最大限の配慮

「ル コマンダン シャルコー」には、ポナンが30年以上培ってきた「責任ある持続可能な船旅」であるこだわりが随所にちりばめられています。LNG（液化天然ガス）かディーゼルガスと、電気を燃料とする初のハイブリッド型電気探査船です。



かつてないラグジュアリーな空間とサービス

これまでのポナンの客船にはない、数々のスペースを備えており心地よい暖かさを楽しみながら、極地の環境を余すことなくご堪能いただけます。極地の旅に特化した究極のラグジュアリー客船です。



南極圏を超えて 究極のエクスペディション

サンチアゴ(チリ) 発着 15泊16日間

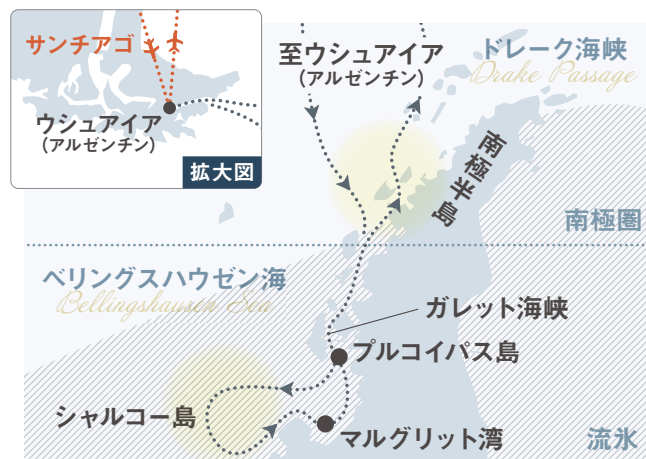
該当コースは
お問い合わせください



出発日 ▶ 2027年：12月1日 / 12月27日



南緯66度33分の南極線を越え、南極圏へと入ります。夏は白夜となる南極圏の限界線を越える特別な体験が待っています。ベリングスハウゼン海を探検し、遠く離れたシャルコー島へもアプローチします。



使用船名 ル コマンダン シャルコー



クルーズ代金

プレスティージ ステート
(1名様/2名1室利用)

AU\$ 39,110.00~

ウェッデル海の コウテイペンギンに出会う旅

サンチアゴ(チリ) 発着 13泊14日間

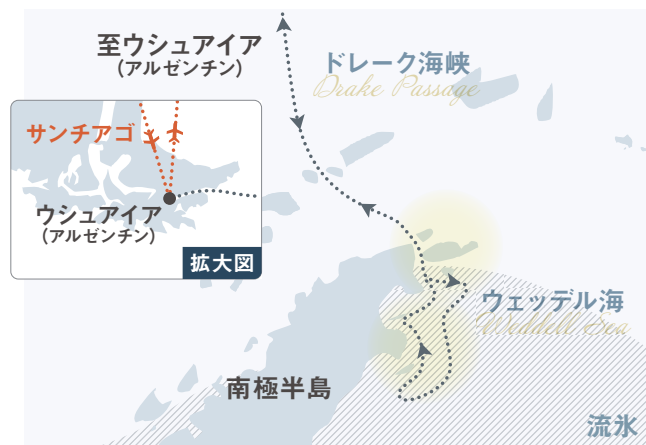
該当コースは
お問い合わせください



出発日 ▶ 2027年：10月26日 / 11月7日 / 11月19日



南極の中でも特に厳しい環境に生息するコウテイペンギンを間近で観察できる、数少ないツアーです。また巨大な棚氷や、透明度の高いブルーアйсの氷山が織りなす南極の美しい氷の世界をご堪能いただけます。



使用船名 ル コマンダン シャルコー



クルーズ代金

プレスティージ ステート
(1名様/2名1室利用)

AU\$ 37,020.00~

「白い大陸」完全周航 南極大陸一周クルーズ

サンチアゴ(チリ) 発着 62泊63日間 (ホバートで寄港2泊)

出発日 ▶ 2028年：1月10日

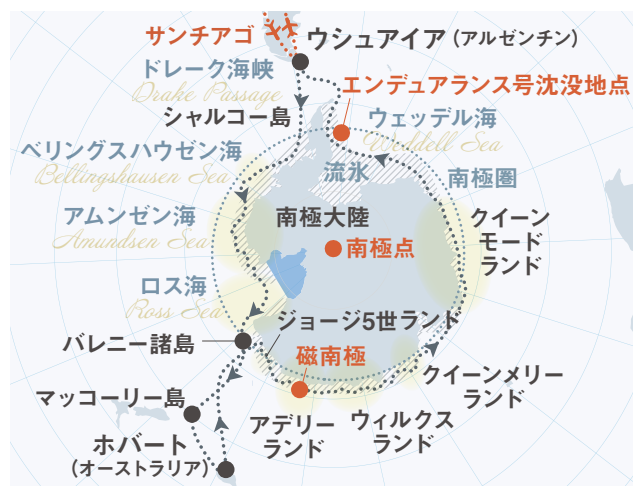


クルーズ代金

プレスティージ ステート
(1名様/2名1室利用)

AU\$ 169,560.00~

ボナン初の南極完全周航の旅。ヨーロッパの3倍の広さを持つ氷の大陸の海岸線約1万8千キロメートルを航行するこれまでにない極地探検です。



使用船名 ル コマンダン シャルコー

ロス海を超え 未踏の南極大陸を半周

サンチアゴ(チリ) 発 / ホバート・タスマニア島
(オーストラリア) 着 30泊31日間

出発日 ▶ 2028年：1月10日



クルーズ代金 プレスティージ ステート (1名様/2名1室利用)
AU\$ 82,010.00~

使用船名 ル コマンダン シャルコー

1万キロの氷河海岸線を巡る 南極大陸半周の旅

ホバート・タスマニア島 (オーストラリア) 発
サンチアゴ(チリ) 着 30泊31日間

出発日 ▶ 2028年：2月11日



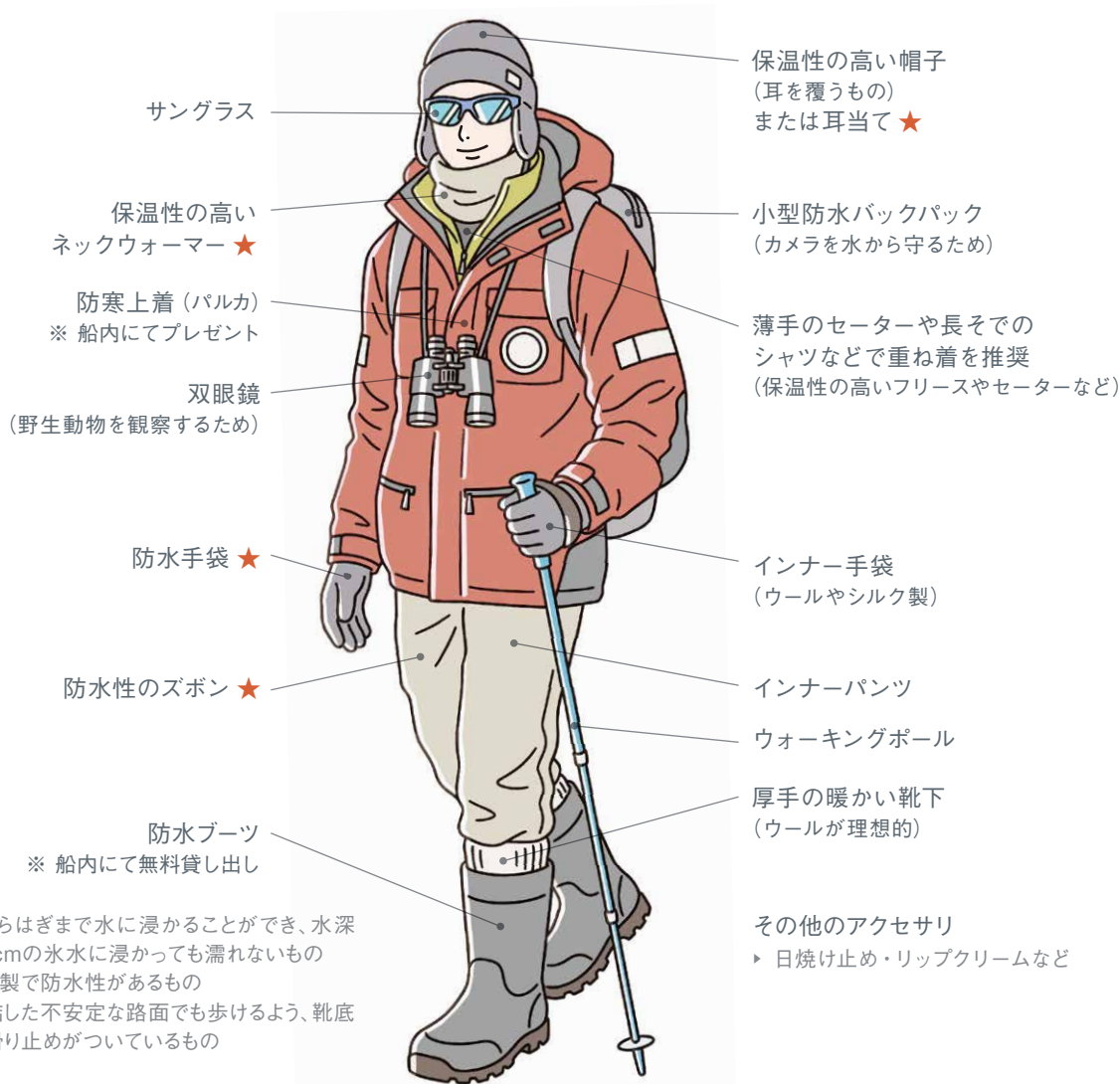
クルーズ代金 プレスティージ ステート (1名様/2名1室利用)
AU\$ 87,550.00~

使用船名 ル コマンダン シャルコー



極地アクティビティでの服装 *Clothes*

★=必須



ご予約・お問い合わせは
reservations.jpn@ponant.com または Tel: 03-6743-2175 へ

ポナン日本支社
www.ponant.jp / asia.ponant.com

発行日: 2026年3月1日

ポナンの旅の様子や
最新情報を
SNSで配信中!

